

# 国語 第5学年 事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう

## 自分の学級に合わせて直すプロンプト

下の枠の文を全部そのままAI（ChatGPT・Claude・Gemini など）に貼り、質問に答えると、この単元の学習指導案が自分の学級に合わせて直ります。枠の後半には、直す対象の学習指導案が入っています。

あなたは小学校国語の授業づくりを手伝う役です。以下の指導案を、私の学級に合わせて直してください。最初に学級の人数と学習の組み方、関連する既習事項、読む・書く・話す際の困難や必要な配慮、使える授業時間と研究授業の位置、ICTと紙の道具について、一項目ずつ質問し、答えを待ってから次へ進んでください。条件がそろったら、学校や暮らしをよりよくする学習の提案を、確かめた事実、自分の感想、提案の意見に分けて構成する。相手に賛成を求める前に、なぜその学習が必要かが根拠から伝わる話にする。このねらいを保ち、目標・評価規準・計画・本時の活動の対応を確かめて全文を書き直してください。本文や台詞、挿絵、教科書固有の問題文は転載しないでください。時数や人数、時間配分は私の回答か出典があるものだけを使ってください。児童の反応を実測した事実として書かず、予想として示してください。三重の指導案の見出しの順を保ち、教師向けの文章に内部IDなどを出さないでください。変更した所と、その根拠となった私の回答を最後に示してください。直す対象の学習指導案は、この後に続けて書きます。

————ここから直す対象の学習指導案————

### 第5学年 国語科学習指導案

1 単元名 「事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう」 教材名 「子ども未来科」で何をする」

#### 2 単元の目標

話し言葉と書き言葉の違いに気付き、聞いて分かる言い方を選べる。事実と感想、意見を区別し、提案の必要性が伝わるように話の構成を考えられる。言葉の働きを確かめ、友達との交流を基に自分の学習を見直そうとする。

#### 3 単元の評価規準

〔知識・技能〕①話し言葉と書き言葉の違いに気付き、聞いて分かる言い方を選んでいる。〔知識及び技能〕(1)イ)

〔思考・判断・表現〕①「話すこと・聞くこと」において、事実と感想、意見を区別し、提案の必要性が伝わるように話の構成を考えている。(A(1)イ)

〔主体的に学習に取り組む態度〕①学習の見通しをもち、単元で確かめたいことに進んで取り組み、友達の言葉や自分の記録を基に、読み方・表し方を見直そうとしている。

#### 4 指導上の考察

##### (1) 単元について

学校や暮らしをよりよくする学習の提案を、確かめた事実、自分の感想、提案の意見に分けて構成する。相手に賛成を求める前に、なぜその学習が必要かが根拠から伝わる話にする。学習指導要領のA(1)イを中心に据える。関連する知識・技能として〔知識及び技能〕(1)イを、言語活動の中で確かめる。

##### (2) 児童について（学級の実態を書く）

##### (3) 指導について

メモを「確かめたこと」「感じたこと」「提案」に分類する。事実の欄には確かめた方法を添える。調べられないことは未確認として述べ、数字や多数派の意見を作らない。おおむね満足できる状況は、事実と感想、意見を区別し、提案の必要性が伝わるように話の構成を考えているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。

#### 5 指導と評価の計画（全6時間）

第1次 第1時：○提案する相手と目的を確かめ、学習したい課題を考える。 評価：学習状況を見て支援する。

第2次 第2時：○課題に関わる事実を集め、感想や推測と分ける。 評価：知①（語句や内容の整理）

第2次 第3時：○問題と提案の関係を考え、話す順をメモにする。 評価：学習状況を見て支援する。

第2次 第4時（本時）：○構成メモで提案し、聞き手が事実と意見を区別できるかを確かめる。 評価：思①（発言・学習記録）

第2次 第5時：○質問を受け、根拠の不足や言い切り方を直して提案する。 評価：学習状況を見て支援する。

第3次 第6時：○提案を聞き合い、事実と意見を分けて話した効果を振り返る。 評価：態①（学習前後の記録・振り返り）

#### 6 本時の指導（4／6）

##### （1）本時の目標

事実と感想、意見を区別し、提案の必要性が伝わるように話の構成を考えられる。

##### （2）学習過程

###### 【導入】

学習活動：本時に使う教材・前時までのノートを確認、自分の最初の考えを短く書く。

○「提案の理由になっているのは、確かめた事実ですか、自分の感想ですか。聞く人が区別できる順序や言い方になっていますか」

【めあて】学校や暮らしをよりよくする学習の提案を、確かめた事実、自分の感想、提案の意見に分けて構成する。

予想される児童の反応：・便利そうだと思うだけでは、必要な理由として弱い。

指導上の留意点：本時に考える対象を確認し、既に確かめたことと、今日確かめたいことを分ける。児童の最初の言い方を残し、まとめて比べられるようにする。

###### 【展開】

学習活動：○「提案の理由になっているのは、確かめた事実ですか、自分の感想ですか。聞く人が区別できる順序や言い方になっていますか」

提案のために集めた材料を事実・感想・意見に分け、提案の必要性を示す順に構成メモを作る。聞いて分かる言い方で提案を試し、聞き手が受け取った必要性和根拠を返す。説明が足りない点を基に構成を直す。

予想される児童の反応：・便利そうだと思うだけでは、必要な理由として弱い。

・自分で困っていることと自分の案を分けたい。

・友達の提案の根拠は自分の根拠と異なる。

指導上の留意点：メモを「確かめたこと」「感じたこと」「提案」に分類する。事実の欄には確かめた方法を添える。調べられないことは未確認として述べ、数字や多数派の意見を作らない。

想定する難しさ：みんなが望んでいるなど未調査のことを事実として話す。提案の説明が長く、理由との関係が見えない。

児童の考えを教師の想定した言い方にそろえない。理由が確かめられる考えは残し、根拠が異なるときはその違いを板書する。

評価：思① 事実と感想、意見を区別し、提案の必要性が伝わるように話の構成を考えている。（材料の分類・提案の構成メモと修正）

###### 【まとめ】

学習活動：【まとめ】今日確かめた言葉や表現と、それによって確かめたことを対応させて自分の言葉でまとめる。

学習前の考えと比べ、付け加えたこと、残したこと、その理由を記す。

予想される児童の反応：・友達の考えを聞いて、自分の理由を詳しく説明できた。

・友達の提案の根拠は自分の根拠と異なる。

指導上の留意点：まとめの文を先に与えて写させず、児童が本時に扱った実際の言葉を入れる。書くことが難しい場合は口述を記録する。次の学習では、その記録を使って自分の表し方を確かめる。

評価：態①（学習前後の記録と、見直した理由）

##### （3）板書計画（縦書き・右から左へ）

右端に題名と本時のめあて。その左に問い「提案の理由になっているのは、確かめた事実ですか、自分の感想ですか。聞く人が区別できる順序や言い方になっていますか」。中央は根拠となる言葉・本文の箇所と、そこから考えたことを上下に対応させる。根拠の本文は先生が教科書から書き入れる。中央から左に児童の考えを

並べ、同じところを囲み、違いの理由を線で結ぶ。左端に、本時で確かめた実際の言葉を含むまとめと、考えを見直した理由を書く欄を置く。縦書きで右から左へ学習の順をたどれるようにする。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie\_ai\_katsuyo)  
[https://www.threads.com/@mie\\_ai\\_katsuyo](https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo)

LINEオープンチャット  
みえ先生ラボ

